学校番号	T4001

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	（併）数学Ｂ	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	最新数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	なし						
レポート	６通		スクーリング	１６回（内２回は定期考査）			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・『数学Ⅰ』を履修した後に履修することができます。
・筆記用具・教科書を必ず持参するようにしてください。
・数学Ｂは数学的な要素を広げようとする生徒や、将来、自然科学や社会科学などの分野に進もうとする人の数学的な資質や能力を育む科目です。
・数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、数学のよさを認識していきましょう。
・ワークシートは毎時間提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察することができる。また、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したり、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識して数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしたりすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前期	数列	数列 等差数列 等比数列 和の記号Σ 階差数列 漸化式と一般項 数学的帰納法	a: ・等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 ・漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ・数学的帰納法について理解している。 b: ・事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用することができる。 ・自然数の性質を見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 c: ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	中間考査 小テスト パフォーマンス課題 レポート	パフォーマンス課題 レポート 課題	パフォーマンス課題 レポート 課題 振り返りシート

	統計的な推測		a: ・標本調査の考え方について理 解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 b: ・確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察することができる。 ・目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c: ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	期末考査 小テスト パフォーマンス課題 レポート 課題	パフォーマンス課題 レポート 課題	パフォーマンス課題 レポート 課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度